

釜石市循環型社会形成推進地域計画

釜石市

平成 26 年 1 月 8 日 当初策定

平成 26 年 10 月 31 日 変 更

平成 27 年 3 月 31 日 変 更

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	3
3	施策の内容	6
4	計画のフォローアップと事後評価	11
別添 1 ～ 3		12
様式 1 ～ 3		16
参考資料様式 1、6		19

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

◇ 構成市町村名	釜石市
◇ 面 積	441.43 km ²
◇ 人 口	37,161 人

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

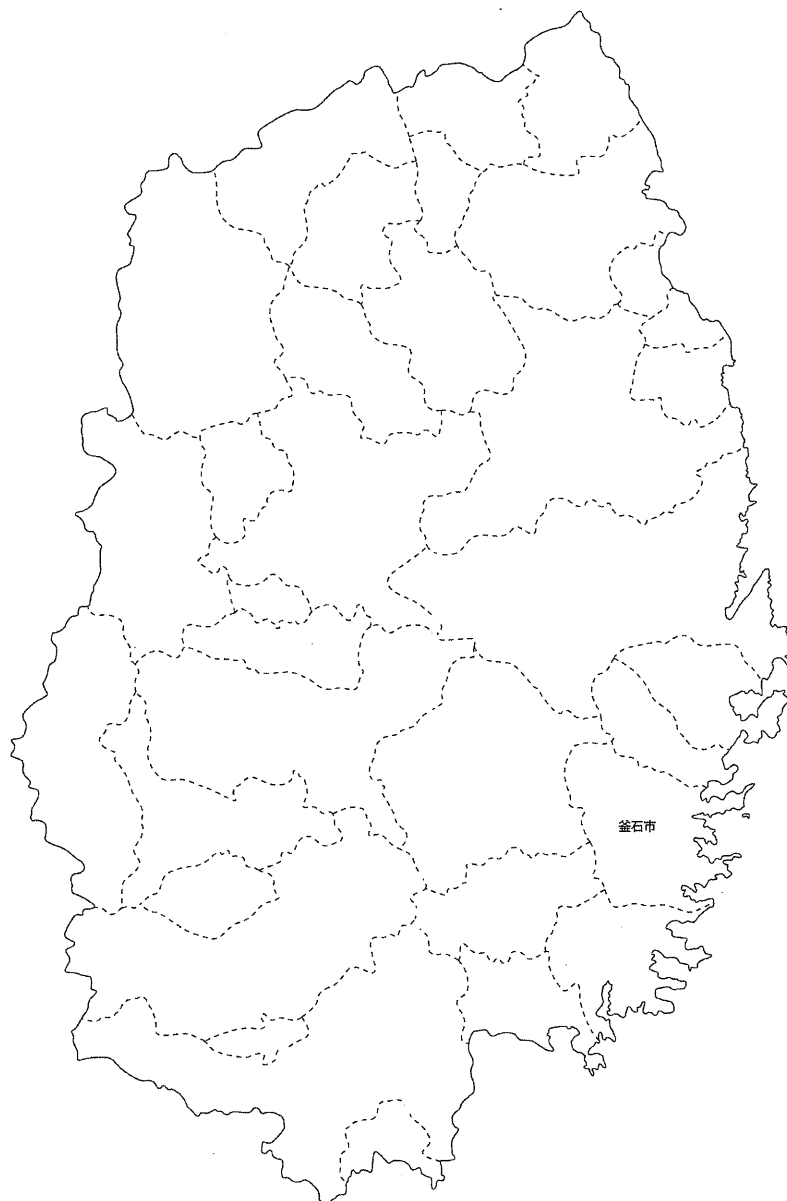


図 1-1 対象地域図

別添 1 に関係施設の概要を記載

(2) 計画期間

本計画は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とし、目標年度を平成 31 年度とします。なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直します。

(3) 基本的な方向

当市のごみ処理体制は、ごみの分別及び収集運搬及び最終処分については、当市が主体となって実施しており、ごみの中間処理（資源化処理を含む）については、岩手沿岸南部組合が処理主体となっています。

現在、当市では、実施してきた分別収集体制を継続している状況にありますが、平成 27 年度を目標に容器包装廃棄物の分別収集品目の拡大を図ります。

ペットボトル・白色トレイは、リサイクルを促進するためのストックヤードの建設を行い、資源化・減量化を図ります。

(4) 広域化の検討状況

岩手県ごみ処理広域化計画（平成 11 年 3 月策定）において、当市は F ブロックに位置づけられています。

F ブロックは岩手沿岸南部広域環境組合を構成する市町村となっております。焼却施設は岩手沿岸南部クリーンセンターのみであり、当市では、施設の延命化を図りつつ、岩手沿岸南部広域環境組合構成市町村との連携・協力体制をさらに進めていきます。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 24 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は、図 2-1 のとおりです。

集団回収量を含む総排出量は、15,095 トンで、再生利用される「総資源化量」は、3,958 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は 26.2%となっています。

中間処理による減量化量は、10,305 トンであり、集団回収量を除く排出量の 69.3%が減量化され、5.6%、832 トンが埋め立てられています。

なお、中間処理量は 13,612 トンです。焼却施設では、温水の場内利用を行っております。

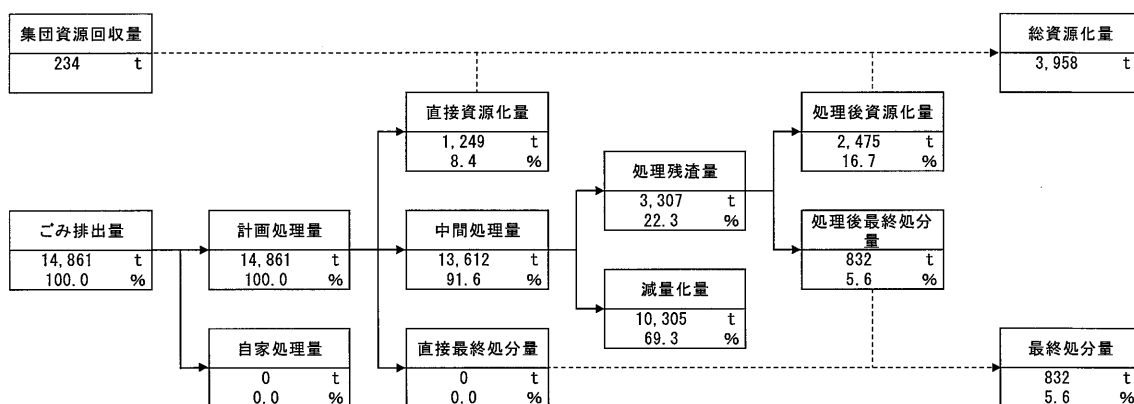


図 2-1 一般廃棄物の処理状況フロー（平成 24 年度）

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指して、減量化、再生利用に関する目標量を表 2-1 に示すとおり定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとします。

目標値については、「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（平成 13 年環境省告示第 34 号）」に係る各種目標値を長期的視点に基づき達成させるべく、目標年度以降も各種施策を推進していきます。

参考として、別添 3 に現状と目標のトレンドグラフを添付します。

表 2-1 減量化・再生利用に関する現状と目標

		現状(割合)※1 (平成 24 年度)	目標(割合)※ (平成 31 年度)	増減比
排 出 量	事業系 総排出量	4,960 ト	4,122 ト	△16.9%
	1 事業所当たりの排出量※2	2.42 ト/事業所	2.58 ト/事業所	6.6%
	家庭系 総排出量	9,901 ト	8,136 ト	△17.8%
	1 人当たりの排出量※3	266 kg/人	247 kg/人	△7.1%
	合 計 事業系家庭系排出量	14,861 ト	12,258 ト	△17.5%
再生利用量	直接資源化量	1,249 ト(8.4%)	1,356 ト(11.1%)	
	総資源化量	3,958 ト(26.6%)	3,673 ト(30.0%)	
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	
減 量 化 量	中間処理による減量化量	10,305 ト(69.3%)	8,150 ト(66.5%)	
最終処分量	埋立最終処分量	832 ト(5.6%)	658 ト(5.4%)	

※1 割合は排出量合計に対する割合。

※2 (1 事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

施策の実施により事業所のごみ排出量の削減を推進するが、当市においては東日本大震災により甚大な被害を受けたことにより事業所数が減少している一方で、復興関連事業の増加により、相対的に 1 事業所当たりの排出量が増加するものである。

※3 (1 人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

排 出 量：事業系、家庭系ごみを問わず、出されたごみの量（集団回収されたごみを除く）

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和

熱 回 収 量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量

減 量 化 量：中間処理量と処理後の残渣量の差

最終処分量：埋立処分された量

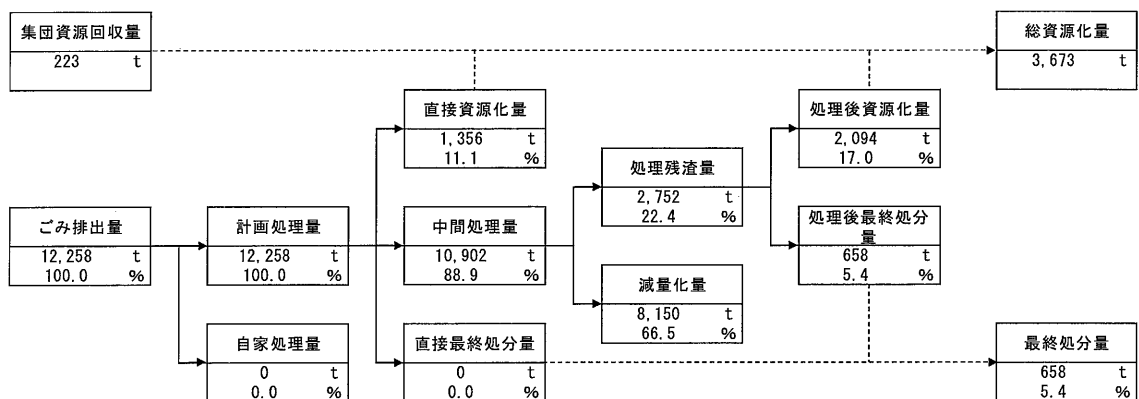


図 2-2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（平成 31 年度）

3 施策の内容

(1) 発生抑制・再使用の推進

ア グリーン商品調達の推進

行政が調達する物品やサービスについては、環境に配慮したグリーン商品を優先的に購入します。

また、岩手県とも連携し、住民に対して広報やホームページを活用してグリーン商品調達の推進を図ります。

イ 総合的な環境教育の導入

住民がごみ問題に関心を持ち、自らのライフスタイルを見直して、できるだけごみを出さないよう心がけ、リサイクルに積極的に参加するよう、意識啓発や情報提供を行います。

また、これまで実施してきた各種の環境教育に加え、リサイクルセミナーやごみ減量化に関する学習会などについて、職員による出前講座を実施し、あらゆる年代や職域において総合的な環境教育の導入を図り、多様化する住民の学習意欲についても対応します。

ウ 廃棄物処理やリサイクルに関する実践の場の拡大

ごみの減量化やリサイクルを進めるに際しては、直に見たり触れたり、体験することも有効な方法であることから、総合的な学習や自治会などの研修の機会を利用して、廃棄物処理施設やリサイクル施設の見学、ボランティアによる不法投棄処理などの実践の機会を設けます。

エ 情報公開及び啓発事業の実施

ごみ処理は、住民の日常生活や企業の事業活動によって生じるいわば身近な問題であり、全ての関係者が共通した認識を持つ必要があることから、このことに関する現在の状況や問題点、課題解決に向けた方向性、それぞれの事業者や住民団体、行政の取り組みなどについて積極的に情報を公開しつつ、啓発活動を展開します。

オ マイバッグ運動・レジ袋対策

毎年、3R推進月間の10月1日から31日まで「環境にやさしい買い物キャンペーン」が実施されておりますので、本市では、これと連携して、マイバッグ持参等の呼びかけを行い、レジ袋の削減に努めます。

カ 再使用の推進

不要になった物を有効に活用するため、不用品交換、フリーマーケットの実施、不用品斡旋の情報提供、ネットワークづくりに努めます。そのため、旧ごみ焼却施設解体撤去後の跡地に、再使用する中古品・不用品の保管に必要となるストックヤードを設置します。

キ ごみ処理の有料化

平成 23 年度に岩手沿岸南部クリーンセンターの稼働に伴い、ごみ処理手数料を改定してきましたが、今後、ごみ処理の現状や課題等を踏まえたごみ処理有料化の取り組みについて検討を行います。

(2) 処理体制

ア 家庭系ごみの処理体制の現状と今後

分別区分と処理方法は表 3-1、分別区分と品目は表 3-2 に示すとおりです。

現在、本市の分別収集計画では、ペットボトル、その他紙製容器包装、その他プラスチックは実施していません。

今後は、平成 31 年度を目標に本市で容器包装廃棄物の分別収集区分を統一し、併せて分別収集品目の拡大をはかります。集団回収については、資源化の向上に大きく寄与しているため、さらに回収を促進するよう回収団体の育成、助成を行います。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系ごみの収集運搬は、許可業者への委託で行われています。

事業所数が減少しているにもかかわらず、全体的に事業系ごみの収集件数とごみ量が増加している傾向にあり、低廉な処理料金や事業者の意識低下のほかにも、ダイオキシン規制などから既存産業廃棄物処理業者が事業を縮小又は廃止しており、圏域で適正処理を担う施設が少なくなっていることなどが考えられます。

このことから、事業系ごみの適正な処理に関する普及啓発を通じて意識の高揚を図るほか、産業廃棄物処理業者や民間収集・運搬業者の育成などを推進していきます。

表 3-1 釜石市の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状

現 状 (H24年)					今 後 (H31年)						
釜石市					釜石市						
分別区分	処理方法		処理施設等	処理実績 (トン)	分別区分	処理方法		処理施設等		処理 予測 (トン)	分別区分
								一次処理	二次処理		
一 般 ご み	熱回収	発電	岩手沿岸南部 クリーンセン ター・資源物分 別作業所	12,972	一 般 ご み	熱回収	発電	岩手沿岸南 部 クリー ンセン ター・資 源物分別 作業所	最終処分場	10,281	一般ごみ
粗 大 ご み	複合	破碎選別		179	粗 大 ご み	複合	破碎選別			120	粗 大 ご み
ビン類(無色)	リサイク ル	再資源化	釜石市分別作 業所	375	ビン類(無 色)	リ サ イ ク ル	再資源化	釜石市分別 作業所		439	ビン類(無 色)
ビン類(茶色)					ビン類(茶 色)						ビン類(茶 色)
ビ ン 類 (そ の 他)					ビ ン 類 (そ の 他)						ビ ン 類 (そ の 他)
缶 類 (アルミ 缶)		再資源化	釜石市分別作 業所	53	缶類(アルミ 缶)		再資源化	釜石市分別 作業所		76	缶類(アルミ 缶)
缶類(スチール 缶)		再資源化		61	缶類(スチール 缶)		再資源化			67	缶類(スチール 缶)
金 属 類		再資源化		99	金 属 類		再資源化			113	金 属 類
紙 類 (新聞)		再資源化	処理委託	520	紙類(新聞)		再資源化	処理委託		428	紙類(新聞)
紙類(その他 紙)		再資源化	処理委託		紙類(その他 紙)		再資源化	処理委託		0	紙類(その他 紙)
紙 類 (雑誌)		再資源化	処理委託	343	紙類(雑誌)		再資源化	処理委託		351	紙類(雑誌)
紙類(ダンボ ール)		再資源化	処理委託	237	紙類(ダン ボ ー ル)		再資源化	処理委託		203	紙類(ダン ボ ー ル)
紙類(紙パッ ク)		再資源化	処理委託	0	紙類(紙パッ ク)		再資源化	処理委託		0	紙類(紙パッ ク)
小 型 家 電		再資源化	処理委託	22	小 型 家 電		再資源化	処理委託		38	小 型 家 電
					ペットボトル		再資源化	処理委託		142	ペットボトル
					白色トレイ		再資源化	処理委託			白色トレイ

現 状 (H24年度)		
釜石市		
区 分	品 目	釜石市
(燃や一般ごみ)	・ 生ごみ類 (残飯、貝殻、卵殻など)	○
	・ 紙類 (飲料用パック、包装紙など)	○
	・ 布類 (下着類、背広、タオル、オシメ)	○
	・ 皮製品類 (かばん、バッグ、ベルトなど)	○
	・ 靴類 (皮・布靴、長靴、ゴム靴、サンダル、ぞうり、下駄など)	○
	・ プラスチック類 (食品トレー、カップ麺、ビデオテープ、カセットテープ、玩具、ポリバケツ、空の灯油缶など)	○
	・ 木類 (木くず、枝など)	○
	・ その他 (紙おむつ、発泡スチロール容器類など)	○
(燃や一般ごみでない)	・ ガラス類 (板ガラス、割れたびん、化粧品のびん、蛍光管、ガラス製の食器や鍋、電球など)	○
	・ 金属類 (金属製の食器や鍋、アルミホイル、レンジパネル、カミソリの刃、薬用のびんや缶)	○
	・ その他 (せと物類、使い捨てカイロ、ペット排泄用の砂、傘、ハンガー、ヘルメット、チャイルドシート、電気コード、など)	○
粗大ごみ	・ 家具類 (タンス、机、イス、鏡台、応接セット、本棚など)	○
	・ ふとん類 (ふとん、マットレス(スプリング入りは除く))	○
	・ その他 (畳、じゅうたん、スキー板、サーフボード、自転車など)	○
資源物	缶 類	○
	びん類	○
	・ リターナブルびん	○
	・ ワンウェイびん	○
	プラスチック類	
	・ ペットボトル (飲料用、酒類用、しょう油容器など)	
	・ 白色トレイ	
	紙 類	
	・ 新聞 (新聞紙、ちらし)	○
	・ 雑誌 (週刊誌、月刊誌、書籍など)	○
	・ ダンボール (缶ビール、電化製品などの梱包用の段ボールなど)	○
	・ 飲料用紙パック (牛乳用など)	○
	・ その他紙製容器包装	○
金属類 小型家電製品	・ フライパン、金属製食器、ホーロー製品	○
	・ 掃除機、扇風機、電子レンジ、石油ストーブ	○
	・ ファンヒーター、炊飯器、ガスレンジ、ビデオデッキ	○



今 後 (H31年)		
釜石市		
区 分	品 目	
(燃や一般ごみ)	・ 家庭系ごみと事業系ごみの混入を防止するため、指定袋による排出を徹底する。	
(燃や一般ごみでない)	・ 家庭系ごみと事業系ごみの混入を防止するため、指定袋による排出を徹底する。	
粗大ごみ	・ 排出方法を統一するとともに、使用可能で不要になった物を処分される前に回収し、有効活用するシステムを構築する。	
資源物	・ H27年度を目途に、ペットボトル・白色トレイ、その他プラスチック製容器包装、その他紙製容器包装の分別収集を開始する。その他の品目についても、分別方法の統一を図る。	

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)の統一後の分別区分および処理体制で処理を行うため、表3-3のとおり必要な処理施設の整備を行います。

表3-3 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設(ストックヤード・圧縮施設整備事業)等	釜石市ストックヤード整備事業	保管庫 189 m ² 管理棟 34 m ²	釜石市栗林町 第2地割9番地1	H26~H28

(整備理由)

事業番号1 施策21に基づき分別区分を変更し、分別項目が増加するため。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表3-4のとおり計画支援事業を行います。

表3-4 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る基本設計調査事業	基本設計・発注仕様書等作成	H26~H27
	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る溶融炉解体のための環境調査事業	解体工事に伴う環境調査	H26~H27
	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る土壌汚染調査事業	周辺土壌汚染調査	H27

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していきます。

ア 再生利用品の需要拡大事業

循環型社会の形成のためには、再生品等の供給面の取組みに加え、需要面からの取組みが重要となることから、住民、事業者及び行政が一体となったりサイクル製品、エコマーク製品利活用を目指す協働の取組みを推進します。

イ 不法投棄対策

ごみの散乱防止や適正な処理に関するモラル向上のため、広報紙、チラシ等による啓発に努めます。また、県、事業者、地域住民と共にパトロールを実施する等監

視体制の強化に努めます。

ウ 生ごみ処理

厨芥類などの生ごみについては、ごみ質でもほぼ5分の1を占めごみ処理全体に及ぼす影響が大きいほか、水分を多く含んでいることから分別、収集、運搬の段階においても負荷を与えている。

このことから、当面は家庭用生ごみ処理機の導入を推進しながら減量化に努めるとともに、将来的には生ごみのコンポスト化の検討を進める。

エ 災害時の廃棄物処理に関する事項

震災や水害等の自然災害により、一時的に多量に排出されるごみの処理については、被災地の衛生と生活環境を保持する観点から、関係市町村と連携してその適正な処理に努めます。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本市では、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて岩手県及び東北地方環境事務所と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行います。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画最終年度終了後、速やかに事後評価を実施し、結果を公表するとともに、次期計画策定に反映させるものとします。

なお、計画の進捗状況や社会的情勢の変化を踏まえ、必要に応じ計画を見直します。

表 1 中間処理施設の概要

【焼却施設】

名 称	岩手沿岸南部クリーンセンター
所 在 地	岩手県釜石市大字平田 3 地割 38 番地 1
竣 工 年	平成 23 年 4 月
処 理 能 力	147 t / 日 (73.5 t / 日 × 2 炉)
処 理 方 式	全連続式
炉 形 式	シャフト式ガス化熔融炉

【粗大ごみ処理施設】

名 称	岩手沿岸南部クリーンセンター（粗大ごみ破碎設備）
所 在 地	岩手県釜石市大字平田 3 地割 38 番地 1
竣 工 年	平成 23 年 4 月
処 理 能 力	10.5 t / 日
処理対象物	可燃性粗大ごみ、不燃性粗大ごみ

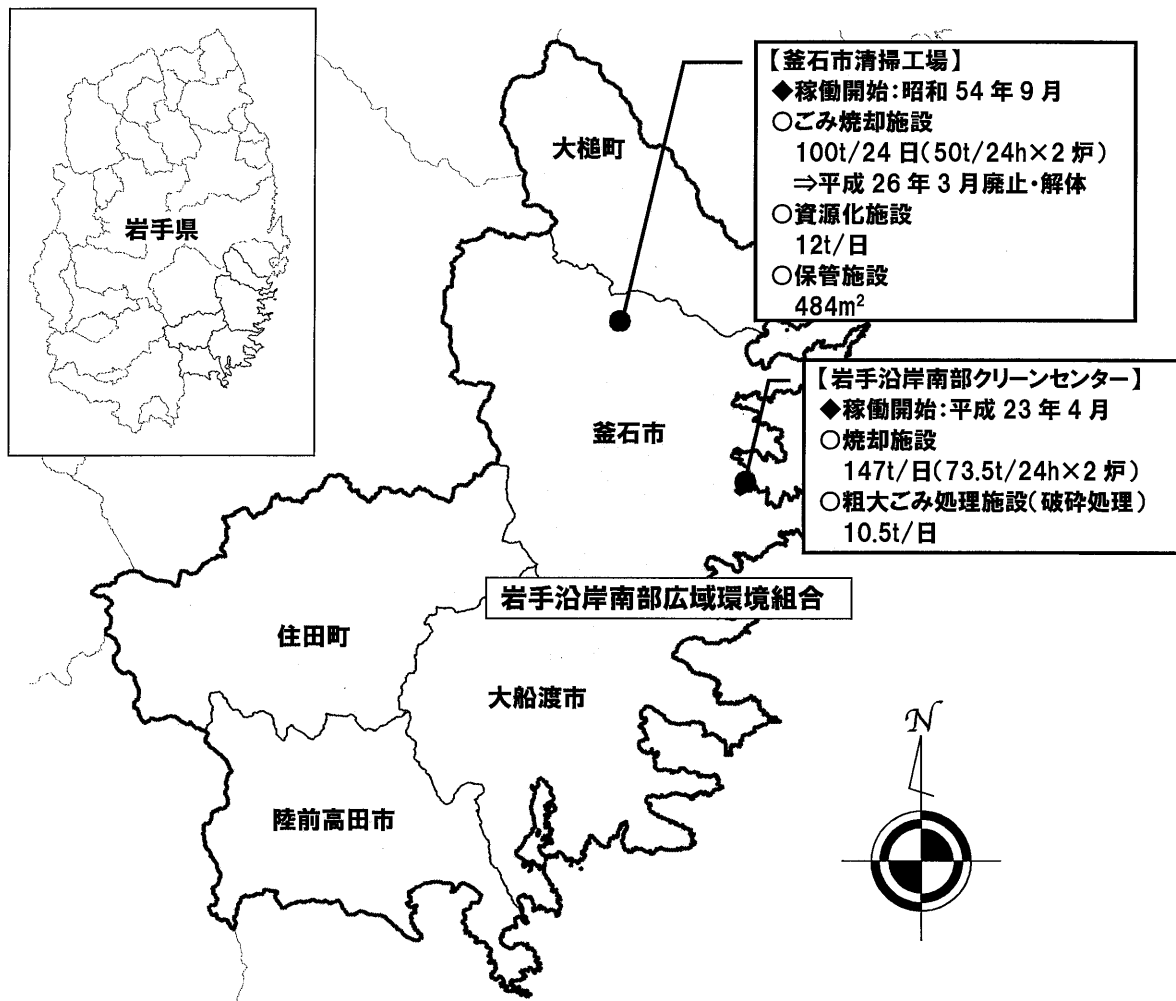
【資源化施設】

名 称	釜石市資源物分別作業所
所 在 地	岩手県釜石市栗林町第 2 地割 9 番地 1
竣 工 年	平成 9 年 4 月
処 理 能 力	12 t / 日
処 理 方 式	缶 類：2 品目機械選別圧縮成型（スチール、アルミ） び ん 類：3 品目手選別（茶色、無色、その他）

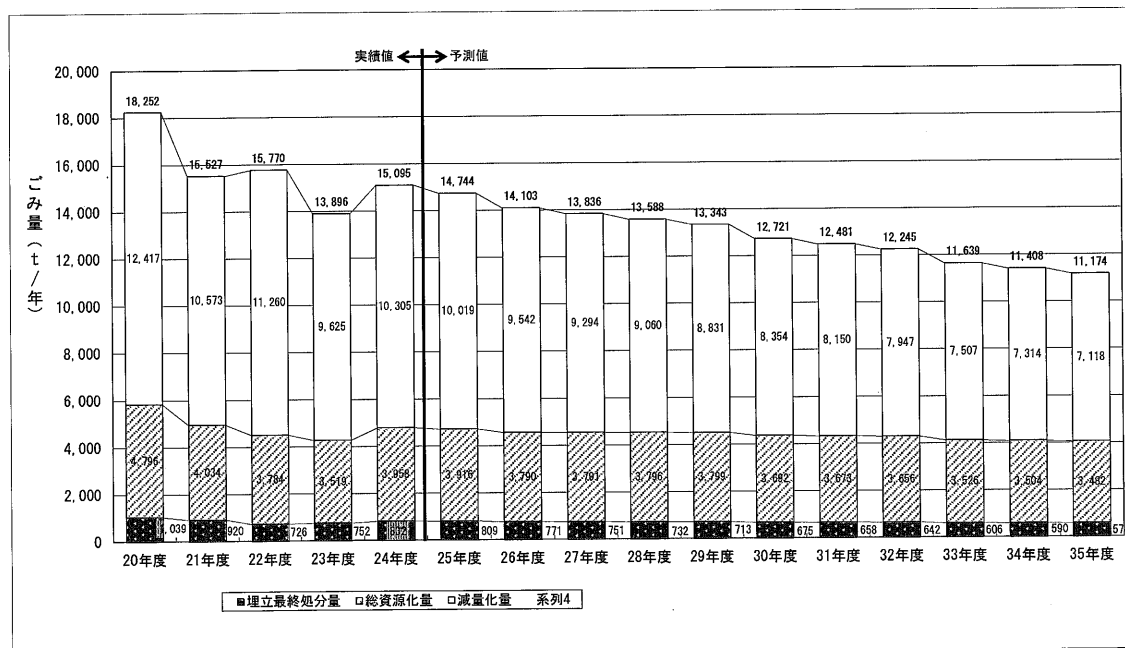
【保管施設】

名 称	釜石市資源物保管施設
所 在 地	岩手県釜石市栗林町第 2 地割 9 番地 1
竣 工 年	平成 9 年 4 月
面 積	484 m ²
分 類 数	1
保管対象物	ガラス類

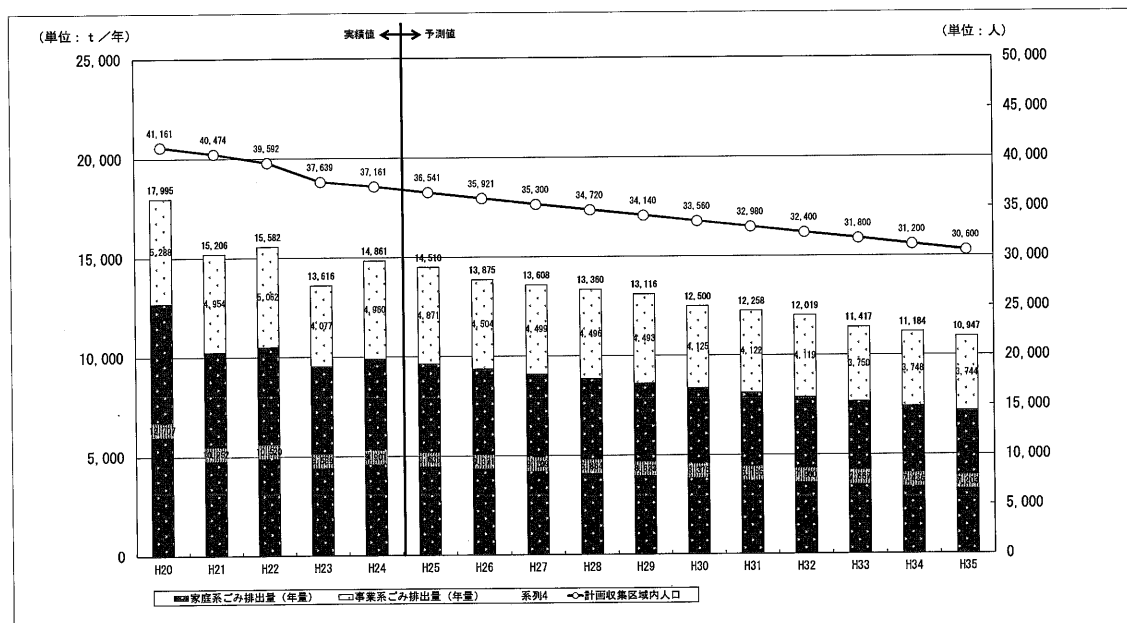
関係施設の位置図



現状と目標のトレンドグラフ

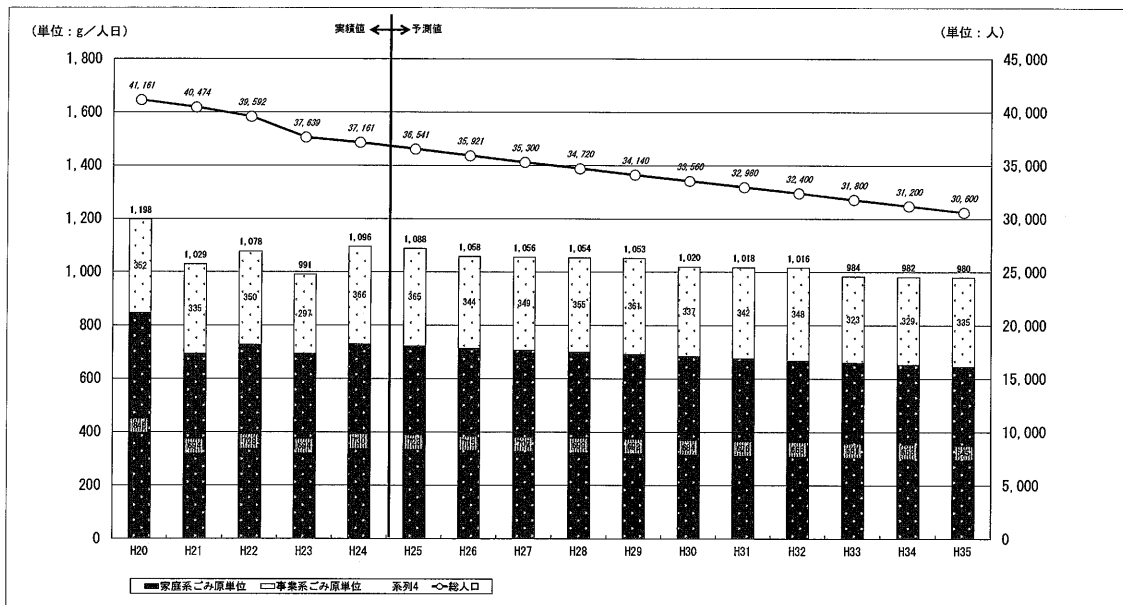


添付資料1 ごみ処理量内訳の推移 ※平成31年度 12,481トン



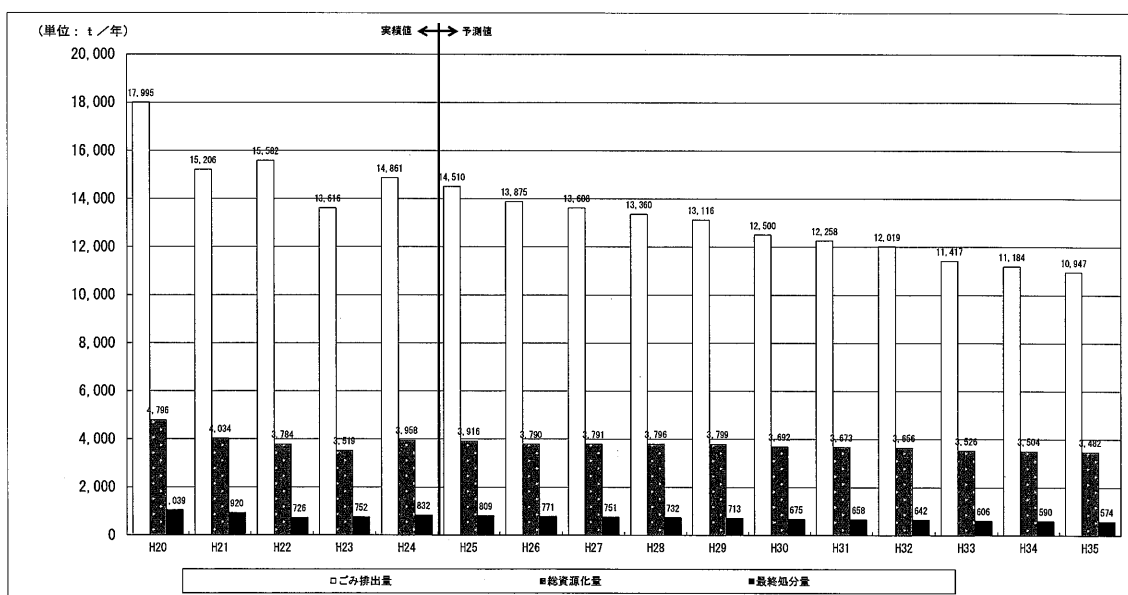
添付資料2 ごみ排出量と計画収集区域内人口の推移

※ 平成31年度 人口 32,980人 家庭系ごみ8,136トン 事業系ごみ4,122トン



添付資料3 1人1日平均排出量（原単位）と計画収集区域内人口の推移

※ 平成31年度 1,018 g/人日 家庭系ごみ 676 g/人日 事業系ごみ 342 g/人日



添付資料4 ごみ排出量と総資源化量及び最終処分量の推移

※ 平成31年度 ごみ排出量 12,258トン 総資源化量 3,673トン 最終処分量 658トン

様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 25 年度)

1 地域の概要

(1)地域名	岩手県 釜石市	(2)地域内人口	37,161 人	(3)地域面積	441.43km ²
(4)構成市町村等名	釜石市	(5)地域の要件	人口 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	①組合を構成する市町村：釜石市②設立(予定)年月日：年月日 設立 ③設立されていない場合、今後の見通し：				

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

		過去の状況・現状 (排出量に対する割合)					目 標	
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成31年度	
排 出 量	事業系	5,288	4,954	5,062	4,077	4,960	4,122 (H24比 -16.9%)	
	総排出量(トン)	2,12	2,03	2,32	1,93	2,42	2,58 (H24比 6.6%)	
	1事業所当たりの排出量(トン)	12,707	10,252	10,520	9,539	9,901	8,136 (H24比 -17.8%)	
	家庭系	306	253	262	251	266	247 (H24比 -7.1%)	
再 生 利 用 量	1人当たりの排出量(kg/人)	17,995	15,206	15,582	13,616	14,861	12,258 (H24比 -17.5%)	
	事業系家庭系排出量合計	1,437 (8.0%)	1,202 (7.9%)	1,211 (7.8%)	1,268 (9.3%)	1,249 (8.4%)	1,356 (11.1%)	
熱 回 収 量	直接資源化量(トン)	4,796 (26.7%)	4,034 (26.5%)	3,784 (24.3%)	3,519 (25.8%)	3,958 (26.6%)	3,673 (30.0%)	
	総資源化量(トン：集団回収含む)	—	—	—	—	—	—	
中間処理による減量化量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	12,417 (69.0%)	10,573 (69.5%)	11,260 (72.3%)	9,625 (70.7%)	10,305 (69.3%)	8,150 (66.5%)	
	減量化量(中間処理前後の差 トン)	1,039 (5.8%)	920 (6.1%)	726 (4.7%)	752 (5.5%)	832 (5.6%)	658 (5.4%)	
最 終 処 分 量	埋立最終処分量(トン)							

3 一般廃棄物処理施設の現状と更新、廃止、新設の予定

3 一般廃棄物処理施設の状況と更新、廃止、新設の予定										
施設種別	事業主体	現有施設の内容			更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	
マテリアルリサイクル施設	釜石市	資源物選別処理	有	12t/日	H9	—	—	—	—	—
	釜石市	ストックヤード				H28.4	処理施設の処理能力不足	保管施設	H28.3	189㎡
エネルギー回収推進施設	組合	全連続燃焼式ガス化溶融炉	有	147t/日	H23.4	—	—	—	—	—
	釜石市	全連続燃焼式ガス化溶融炉				解体 H27.3	老朽化、集約、エネルギー高効率回収等	—	—	

様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2 (平成26年度)

事業主別		事業番号	事業主体名称	規模	事業期間 交付期間		総事業費(千円)						交付対象事業費(千円)						備考
					単位	開始	終了	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度		
事業名称								1,003,702	206,662	19,440	0	0	978,862	777,600	185,062	16,200	0	0	
		○マテリアルサイクル 推進施設に関する事業																	
		ストックヤード整備	2	釜石市	—	H26	H28	1,003,702	206,662	19,440	0	0	978,862	777,600	185,062	16,200	0	0	
		ストックヤード整備 (旧溶融炉解体)	2	釜石市	—	H26	H28	875,388	84,828	12,960	0	0	851,628	777,600	63,228	10,800	0	0	
		ストックヤード整備 (保管庫)	2	釜石市	—	H27	H28	77,444	70,964	6,480	0	0	76,364	0	70,964	5,400	0	0	
		ストックヤード整備 (管理棟)	2	釜石市	—	H27	H27	50,870	50,870	0	0	0	50,870	0	50,870	0	0	0	
○施設整備に関する 計画支援事業								72,690	31,434	0	0	0	72,690	41,256	31,434	0	0	0	
ストックヤード整備に 係る実施設計書作成		31	釜石市	—	H26	H27	18,057	18,057	0	0	0	18,057	18,057	0	0	0	0	0	
ストックヤード整備に係る 焼却炉解体のための調査		31	釜石市	—	H26	H27	23,199	23,199	0	0	0	23,199	23,199	0	0	0	0	0	
ストックヤード整備に 係る土壌汚染調査		31	釜石市	—	H27	H27	31,434	0	31,434	0	0	31,434	0	31,434	0	0	0	0	
合計							1,076,392	818,856	238,096	19,440	0	0	1,051,552	818,856	216,496	16,200	0	0	

様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧（今後行う施策）

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	
発生抑制、 再使用の 推進に関 するもの	11	グリーン購入の推進	環境に配慮したグリーン商品を優先的に購入するための推進を図る。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	12	環境教育	ごみを出さないように心がけ、リサイクルに積極的に参加する。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	13	リサイクルの拡大	リサイクルを進めるために直に見たり触れたり、体験することなどの機会を設ける。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	14	情報公開・普及啓発	行政の取り組みについて積極的に情報を公開しつつ、啓発活動を展開する。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	15	マイバッグ運動・レジ袋対策	マイバッグ持参等の呼びかけを行い、レジ袋の削減に努める。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	16	再使用の推進	不用品交換・転売の情報提供、ネットワークづくりに努める。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	17	ごみ処理の有料化	ごみ処理の現状や課題等を踏まえ検討する。	釜石市	H26	H30		検討					
処理体制の構築、変更に関するもの	21	施設整備に伴う分別区分の変更	循環型社会形成推進のための処理施設整備に伴う分別区分の変更を行う。	釜石市	H26	H30		事業実施	新分別収集区分の開始				
処理施設の整備に関するもの	1	ストックヤード整備（溶融炉解体）	ストックヤード用地を確保するため溶融炉を解体する。	釜石市	H26	H28	○	解体工事等					
		ストックヤード整備（保管庫）	粗大ごみの一部を再使用・再利用を促進するため保管庫を整備する。	釜石市	H27	H28	○	建設工事					
		ストックヤード整備（管理棟）	ストックヤード・圧縮施設の管理を行うため管理棟を整備する。	釜石市	H27	H27	○	建設工事					
施設整備に係る計画支援に関するもの	1の計画支援	リサイクル推進施設整備に係る実施設計書作成等	釜石市	H26	H27	○	設計						
	31の計画支援	溶融炉の解体工事に伴う環境調査	釜石市	H26	H27	○	環境調査						
	1の計画支援	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る土壌汚染調査	釜石市	H27	H27	○	土壌汚染調査						
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	リサイクル製品、エコマーク製品活用を目指す協働の取り組みを推進する。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	42	不法投棄対策	広報誌、チラシ等による啓発及び事業者・地域住民と共同でパトロールを実施するなどして監視体制を強化する。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	43	生ごみ処理	当面は家庭用生ごみ処理機の導入を推進しながら減量化に努める。	釜石市	H26	H30		事業実施					
	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	被災地の衛生と生活環境を保持する観点から、災害廃棄物の適正な処理に努める。	釜石市	H26	H30		事業実施					

【参考資料様式 1】

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 岩 手 県

(1) 事業主体名	釜石市
(2) 施設名称	未定（マテリアルリサイクル推進施設） 「ストックヤード・圧縮施設整備事業」等
(3) 工期	平成 26 年度 ～ 平成 28 年度
(4) 施設規模	保管庫 189 m ² 管理棟 34 m ²
(5) 処理方式	一時保管
(6) 地域計画内の役割	既存施設の処理能力不足
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	☒ 有 無 （既存焼却処理施設を解体）

(8) スtock対象物	ペットボトル、白色トレイ、家電製品
--------------	-------------------

(9) 事業計画額	1,003,702 千円（税込）
-----------	------------------

【参考資料様式 6】

計 画 支 援 概 要

都道府県名 岩 手 県

(1) 事業主体名	釜石市
(2) 事業目的	マテリアルリサイクル推進 施設整備のため
(3) 事業名称	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る 基本設計調査事業
(4) 事業期間	平成 2 6 年度 ～ 平成 2 7 年度
(5) 事業概要	基本設計・発注仕様書等作成

(6) 事業計画額	18,057 千円（税込）
-----------	---------------

(1) 事業主体名	釜石市
(2) 事業目的	マテリアルリサイクル推進 施設整備のため
(3) 事業名称	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る 溶融炉解体のための環境調査事業
(4) 事業期間	平成 2 6 年度 ～ 平成 2 7 年度
(5) 事業概要	解体工事に伴う環境調査

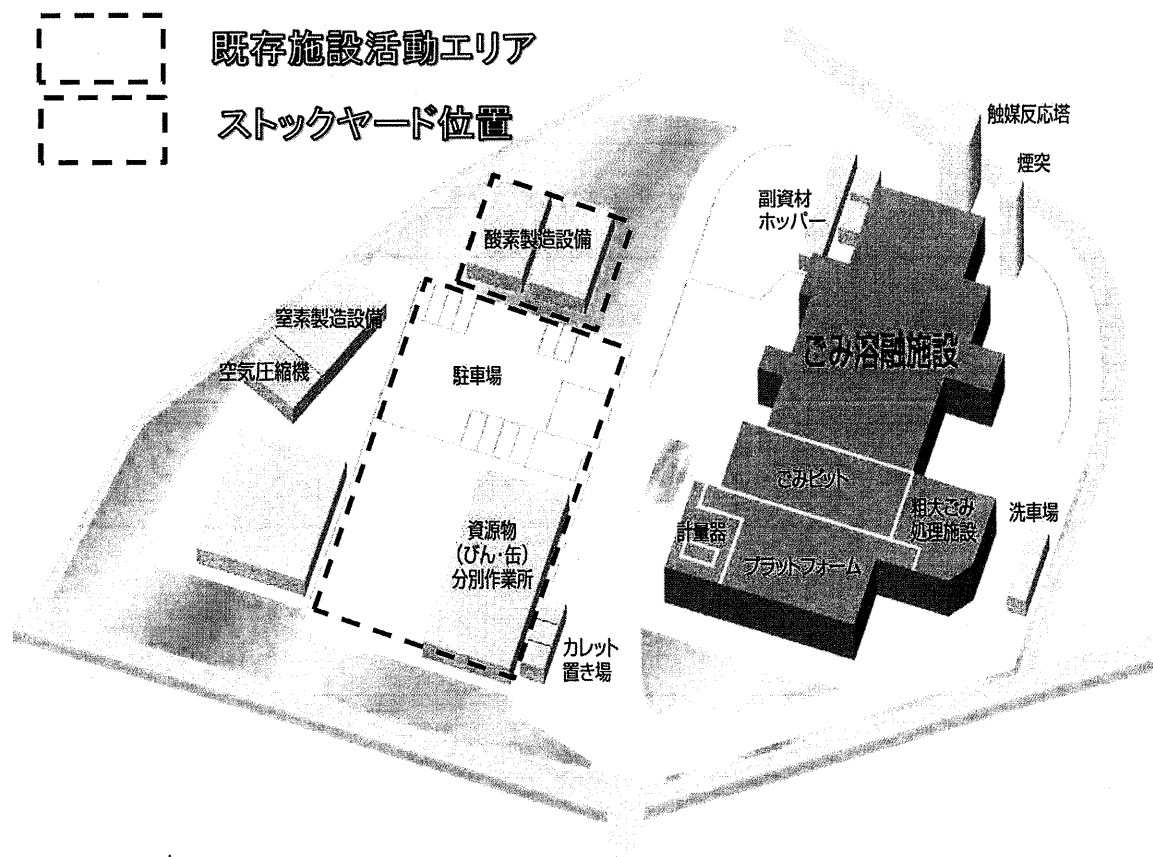
(6) 事業計画額	23,199 千円（税込）
-----------	---------------

(1) 事業主体名	釜石市
(2) 事業目的	マテリアルリサイクル推進 施設整備のため
(3) 事業名称	マテリアルリサイクル推進施設整備に係る 土壌汚染調査事業
(4) 事業期間	平成27年度
(5) 事業概要	周辺土壌汚染調査

(6) 事業計画額	31,434 千円（税込）
-----------	---------------

【参考資料】

配 置 図



釜石市旧焼却施設・資源物分別作業所・保管場所

